

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 5月 11日

事業所名 児童発達支援事業所Manaはな組

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10	1		走れたり活動を楽しめるスペースがあり、室内テラスや園庭もあります。
	2	職員の配置数は適切である	7	4	多めに配置をしている為安全。看護師3名配属し、医ケア児対応もあり安心できます	適切な人数を配置しています。※より安全に支援が行える様、多めに配置をしています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8	3	段差等も本児に合わせて、訓練(練習)として取り入れ環境を上手くつかっている	のびのびと活動が出来る広さ・空間となっています。現在車椅子の児童はいませんが、施設入口はバリアフリーにしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	10	1	感染予防として霧化器(ソリューションウォーター)使用	必ず朝・昼・夕方には掃除をし、常に清潔を心がけています。常に換気もしています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	4	個々に合った課題を工夫も含め取り入れている。	毎週ミーティングを行い、振り返りをし職員全体で目標設定をしています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	2		毎年貴重なご意見を受け、職員全体で話し合い、改善に努めています。今度も参考にしていきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	2		ホームページにて公開をしています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	4		現在行っていませんが、今後より良くする為にも検討をしていきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10	1	外部からも講師を呼び全体研修を実施している。	研修の情報を職員全体に共有し、誰でも気軽に受講出来る様にしています。今後も向上の為に職員みんなで学んでいきます。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	10	1	職員間のやりとりが上手く出来て、アセスメント・支援計画も適切にできていていると思う	保護者とこまめに情報共有をしながら、そして職員間でも定期的にケース会議を行い計画書を作成しています。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9	2		アセスメントシートを使用しています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	11			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	10	1		適宜確認し、一人ひとりにあった支援を行っています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	9	2		定期的に会議を行っています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10	1	毎朝保育士にて活動のミーティングを行っています。	常に職員間で話し合っている/週間プログラムの設定内容を工夫しています。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	9	2		本児に応じて必要な計画を作成しています。(個別であれば作業訓練等)	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	6	打ち合わせはしていないが、習慣プログラムの予定で事前準備等行っている	打ち合わせ出来ていないと感じますとの意見があり、令和5年度より毎朝支援前に行ってまいります。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	7		支援後にできない場合は、次の日や週に1度のミーティングの際に振り返りを行っています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10	1		支援記録・日報を日々記載しています。その他にも保護者からの相談内容等もしっかり記録しています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	10	1		成長に応じて見直しを行っています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10	1		サービス管理責任者が参画しています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	10	1		定期的に会議を行っています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	11			直接的な連携は取っていませんが、保護者を通して情報提供を行う様にしています。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	10	1		医ケア指示書等、定期的に提出していただき、情報を最新にしている。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	10	1		必要であれば情報提供を行う様にしています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	10	1		必要であれば情報提供を行う様にしています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	6		現在受けてはませんが、支援向上の為今後受けていきたい。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	10		コロナ禍にて行えていなかった為、今後検討していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	7		コロナ禍にて行えていなかった為、今後検討していきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	11			おたより帳を通して常に行っている。受け入れやお迎え時にも積極的に保護者へ声かけし伝えていきます。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5	6		コロナ禍にて行えていなかった為、今後検討していきます。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	11			契約時に必ず説明を行っています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	11			児童発達支援計画の説明をしながら、保護者に同意を得ている。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10	1		保護者の話を聞いて、職員間でも話し合いをしている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	9		開催していたがコロナ禍にてなかなか参加者がいない。今後も声かけをし交流の場を作っていきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	11			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	11		お知らせ配布や入口前掲示板に貼り出している。	SNSでも活動の様子を掲載し発信しています。掲載回数を増やし、保護者にもっとお子さんの活動を見せてあげたい。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	11			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11		お迎え時に口頭で伝えたり、おたより帳へも記載している。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	8		コロナ禍にて行えていなかった為、今後検討していきます。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	11		マニュアル作成し、救急車の呼び方やAED使用方法・火災訓練・地震津波訓練を実施している。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	11			消防訓練は8月・2月に行っています。その他地震・津波訓練も定期的に行っています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	11		受け入れ時、保護者からの情報(健康確認)を行っている。	契約の際、細かく児童の体質についての聞き取りをしています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	11			必ず医師の指示書に基づき対応をしています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	11		会議の際、全体に伝えて状況共有をしている。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	11		定期的に研修を確保している。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	11			

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。